

○事業所名	一般社団法人Be.カラフル スポーツコミュニケーションスクールカラフル富山けやき通り校		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 18日 ~ 2026年 2月 26日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57人	(回答者数) 24人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 18日 ~ 2026年 2月 26日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【環境整備と構造化】 遊び・学習スペースが分けられ、視覚的な手がかりで子どもが見通しを立てやすいよう構造化されている。また、日々の清掃が行き届き、清潔で衛生的な環境が維持されている。	小集団で活動場所を分け、子どもの状態に配慮した支援を実施。活動の見通しが立てやすいよう、スペースの区切りや視覚的補助などの環境設定を意識的に行っている。	バリアフリー化(段差、玄関ドア、2階設備等)を今後の検討課題とし、少しずつ改善を進める。
2	【職員連携と利用者主体の支援】 事業所内での活発な意見交換や研修が実施されている。子どもが自己選択・決定できる機会が多く、子ども自身も「楽しく通っている」と保護者からの満足度・安心感が高い。	支援前後の打ち合わせやフィードバックを行い、チーム連携を重視。プログラムの担当者を日替わりにし、個々の興味に応じた活動や安心できる雰囲気づくりを行っている。	個々の支援計画について職員全体で共通理解を深める場を増やす。また、外部研修に積極的に参加し、職員の専門性をさらに向上させる。
3	【保護者・地域との連携】 SNSでの積極的な情報発信や、保護者向けの講座・茶話会を定期的に行っている。苦情等にも即時対応し、連絡ツールを通じて意見を運営に反映させている。	支援記録等でお子さんの様子を保護者と共有し、日々のコミュニケーションを大切にしている。地域企業との連携プログラムなど、多様な活動実績を積んでいる。	兄弟児も参加できるイベント(ドッジボール等)の実施など、家族支援を拡充する。また、地域交流の実績について保護者への情報共有を徹底する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【人員配置・専門性の課題】 職員の入れ替わりが激しく、専門性のある職員や経験者が少ないため、日々の業務において職員にゆとりが不足していると感じる場面がある。	マンパワー不足と経験者の少なさが、支援スキルの差やゆとりの欠如につながっている。	外部・県の専門的な研修に積極的に参加する。プログラム立案を個人任せにせずチームで行う仕組み作りや、重要書類管理・事故防止訓練の徹底を図る。
2	【施設・物理的環境の課題】 建物の老朽化やバリアフリー化の遅れ(2階への階段等)がある。室内プログラム時に手狭に感じることや、個別で落ち着ける専用の部屋がない。	建物の構造上、抜本的なバリアフリー化や、個別の静かな空間の確保といった物理的な制約がある。	活動スペースを分けるためのパーテーション導入や、子どもに合った机・椅子の整備を検討する。安全計画に基づく設備点検と保護者への周知を徹底する。
3	【組織体制と外部連携の課題】 第三者評価の未実施や、医療・教育・就学前機関・地域の児童発達支援センター等との連携・情報共有が十分にできていない。	日々の振り返りが翌日に回るなどの時間的制約や、PDCAサイクルへの職員参画、外部関係機関との連携体制の未整備が要因。	メモなどを活用して振り返りを「当日完了」させる習慣をつける。関係機関との連携体制を具体的に整備し、保護者が気軽に相談できる対面や交流の機会を増やす。